



文責：進路指導部

〇はじめに

保護者の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。10月には各学年の「学年部会」が開催され、多くの保護者にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。

さて、平成29年も11月を迎え、3年生は受験まで〇日というカウントダウンが始まりましたが、実は1・2年生にとっても大変重要な進路選択の季節がやってきました。

入試改革や大学改革が行われている影響で、数年前の大学入試と比較しても大きく様変わりしています。上のお子さんや保護者ご自身の時代の入試とは大きく異なっていますので、先入観を排して、十分にご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

1. 1・2年生にとって大切な時期がやってきました。

3年生の受験が近づき、そちらに気を取られがちですが、1・2年生の今後の進路選択にとってとても重要な時期になってきました。

1年生は、「文・理選択」、2年生は「コース選択」の調査が始まり、3学期までには来年度の希望を明確にしなければなりません。もちろん本校では、すべての学年でクラス替えが行われますので、選択に基づき新しいクラス編成も行われます。

文理選択やコース選択は、単純に考えればとても簡単な2択ですが、その意味を深く考えると、大変難しい選択になります。選択によって選べる大学の範囲もグッと狭まります。本当にその選択が自分（お子さん）の将来に合っているのか…と。

本校では、学年集会や各教科の授業、進路指導部長講話などを通じて何度も丁寧に「選択による違い」や「将来への影響」などを説明し、さらに担任による個人面談も行っております。

来年度以降の生徒たちの進路にとって、本当に重要な時期であるといえます。保護者の皆様もできるだけ時間をとって、生徒（お子さん）と向かい合ってお話しなさってください。

教科・科目の得手不得手だけでなく、将来の生き方につながる勉強だからこそ、苦手を克服せねばならない、ということもあります。昭和の高度経済成長期とは異なり、「とりあえず理系」にしておけば仕事があるというご時世でもありません。学歴社会という構図もだいぶ変化しています。（エントリーシートに大学名を記入しないケースも増えてきています。）

何を選択するのか、その結果どんな人生につながるのか…この課題は生徒たちにとっても、初めての大きな試練となることでしょう。是非とも保護者の皆様にもご協力いただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

2. 3年生は、勉強と健康管理を

センター試験まであと60数日となりました。次第に本番が近づき、焦りが出て来る季節です。学年部会でも申し上げましたが、生徒たちは本当に頑張っています。保護者の皆様の日常生活の言動を生徒たちは敏感にキャッチしますので、あまり焦らず、ドンと構えて見守ってあげてください。ここまで来たら、何をすべきかどの生徒もわかっています。お子さんを信じて応援してください。

この時期に何よりも心配なのが、健康管理です。せっかく勉強して成績が上がってきけていても、当日発熱して受験できない、というケースも多く見られます。また、インフルエンザの予防接種が済んでいるでしょうか。今年はワクチンが少ないというニュースが流れています。お早めに対応をお願いいたします。

受験のための宿泊先の予約も、そろそろ時期的に限界です。なるべく近い宿が生徒にとってはありがたいはずですが。東京の受験は、当日でも間に合うとお考えかもしれませんが、昨年度電車の事故で受験できなかった生徒もおります。用心に越したことはございません。できるだけ前日宿泊をお勧めいたします。今年は国公立入試の前期試験が日曜日となり、前泊が土曜日となる関係で宿泊が難しいと予想されています。保護者の皆様の出番です。よろしくお願いします。

そうはいっても受験ですから学力が必要です。時間を有効に使って、徹底的に学習することも求められます。健康を害することのないよう、勉強と健康管理のバランスをご指導ください。よろしくお願いします。

3. 将来につながる進路選択を！

いずれの学年も「実りの秋」を迎え、高校生活の成果を確認する大切な時期になってきました。学年が始まってから約8ヶ月を過ごした生徒たちは、どんな成果を手にしたのでしょうか。

本校の生徒たちは、「部活動も勉強も」と二兎を追う生徒が90%にも達します。この傾向は3学年になっても継続しますので、本格的に文武両道が求められる高校だといえます。勉強と部活動の両立は本当に大変で、多くの困難にも直面することと思いますが、それだからこそ得られる「かけがえのない時間」が存在すると信じております。

本校を卒業していった先輩たちは、このような環境でも最後まで戦い、そして国公立大学に半数以上が合格し、難関国公立大学・難関私立大学にもチャレンジし、成果を残してきました。

高校生活の目標は何でしょうか。大学に進学できればそれで良いのでしょうか。本校の進路指導においては、かけがえのない青春時代を精一杯生きてほしい。そして志望大学への進学を実現してほしいという欲張った指導を続けております。そして、この方向性には現在も変更はありません。

本当に素晴らしい時間を過ごし、精一杯努力し、多くの仲間と最後まで戦い抜く。そのことが、将来の自分を作っていくと信じて欲しい。進路指導部ではそう願って指導をしています。

保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。